

まなべ！土砂災害

太田市立尾島小学校 四年 箱田 宇姫

「土砂災害」というのを、2年生のときの夏休みポスターの宿題がきっかけでした。

それから、土砂災害のニュースを見たときに、すごくきけんというのがわかりました。

それからどうして土砂災害がおこるのかがきになるようになりました。そして調べてみました。

そもそも、日本で土砂災害がおこりやすい理由があるそうです。それは、国土のやく70%が山地だそうです。そのため川はもろくてくずれやすくなり岩や坂から出来ている山々を深くけずりながら山の上から海までの短いきよりを一気に流れ下ります。そのため、わが国では、土砂災害やこう水などの自然災害が発生しやすいそうです。さらには、山をはいごにかかえたせまい平地が多くの人々のくらす場となっており特に都市部では山をきりひらいて開発されていて、すぐそばにまで住宅地が形成されている例が多く見られます。

このこともわが国で、土砂災害が多い1つの大きな要因となっており土砂災害のおそれのあるかしよはふえ続けていることがわかりました。

それをして、わたしは、山を切りひらなればよかたのになと思ってしまいました。でも、もうもどせないのので、こんごのために、土砂災害からみを守る方法をしらべました。

土砂災害がおきるよちようは3つあります。

一つめは、しゃめんにきれつが入る。

二つめは、しゃめんからにこった水がでる。

三つめは、じなりや木の根が切れる音がする。

このよちようがあったらひなんするべきです。でも、このよちようがよなかのねているときはきづかないし、よなかには、くらくてあぶないのでにげることができないと思います。だから大雨がふってきたときは、はやめに、にげられるように日ごろからそなえておいたほうがよいと思いました。さいがいからみを守るために、ぜんちようや生活する場所のとくちようをしっておくことが大切です。そして、ひなんさきでは、さいていげんひつようなみものやたべものもひなんバッグによいして自分の命をまもれるようじゅんびしておくことがだいじだと思いました。